



安全・環境・企業市民活動

年次報告書

株式会社 巴商会
TOMOESHOKAI Co.,LTD

お客様のためになることをする。



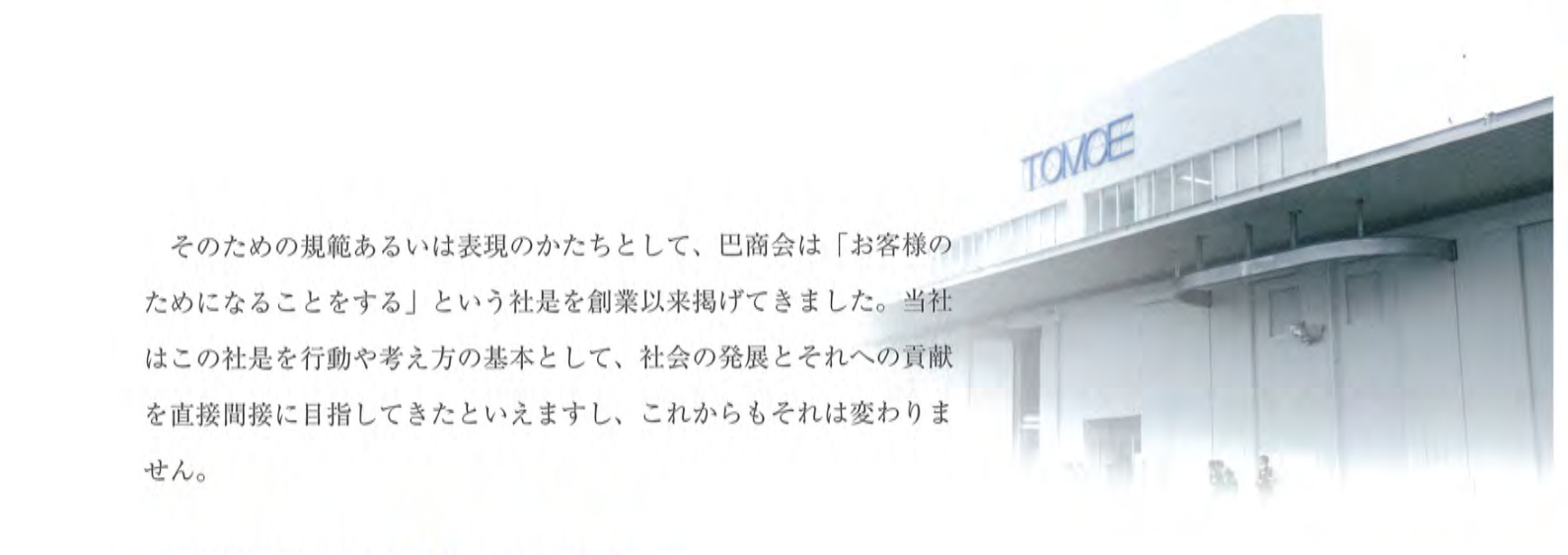
「安定供給」「安全確保」に対する取り組み

巴商会は、各種産業ガスをお客様のもとへ安定的にお届けすることを通して、社会の様々な分野の発展に貢献することを使命としています。その、社会への貢献を継続的に果たしていくための企業として産業・経済社会に生きています。

そして、当社の取り扱う高圧ガスは、様々な役立つ特性を持つ反面、扱いを誤ったときの危険性も併せ持っていますので、各種ガスの供給から現場使用までの適切性と安全性を確保することが求められます。これが、当社の負っている社会への貢献責任の第一義です。

「お客様のためになることをする」取り組み

当然、企業としての継続性を支える経済性も必要となりますが、これは、社員の生産性と生活基盤を確保するとともに、広く行政サービスの原資を生み出すことにもつながります。これらの責任は社会貢献としては間接的なものともいえますが、先述の第一義的な使命に優先度の劣るものでは決してなく、いずれの責任をも全うすることが必要です。



そのための規範あるいは表現のかたちとして、巴商会は「お客様の
ためになることをする」という社是を創業以来掲げてきました。当社は
この社是を行動や考え方の基本として、社会の発展とそれへの貢献
を直接間接に目指してきたといえますし、これからもそれは変わりま
せん。


企業市民としての取り組み

これに加えて、企業活動の枠にとどまらず、地域社会や各種共同体
における様々な接点において、企業市民としての行動をとることも意
義あることとして考えています。企業としての存続・継続的な産業社
会への貢献と、地域社会その他のコミュニティへの貢献とが両立し、
社会を構成する多くの人たちとの共生が図っていければ理想的です。

当社としては、そういった理想を大上段に振りかざすことなく、巴
商会の地道な役割から出発する身の丈に合った活動を進めていこうと
思います。ガスにかかわる安全を本旨とする活動や周辺機器の取り扱
いが環境保全に資する場面も少なからずあることでしょう。

また、社員のなかから様々なボランティア活動参加への機運が広が
りを見せているのも大変良いことです。それらが巴商会の社会への貢
献にいろいろな角度でつながるよう願っています。

株式会社 巴商会
代表取締役社長 深尾定男



株式会社 巴商会
横浜研究所



安全活動

私達は、お客様が安心して高圧ガスをお使い頂けるよう、高圧ガス容器の移動、供給から消費、排気に至る各段階において、行動指針の一つ、“自主性を発揮して、安全で活力に溢れる企業を創造します”を実行しております。

『安全』活動の取り組み

高圧ガスの移動に対する取り組み

巴商会では、お客様に高圧ガスを確実に届けるために、交通事故を未然に防止する活動を積極的に行っています。2013年5月からは、高圧ガスを運搬するトラックを中心にドライブレコーダーの導入を進めており、2015年3月までにおよそ45%の設置が完了しています。このシステムにより危険運転に結びつく挙動をリアルタイムに「見える化」することで、ドライバーの安全運転に対する意識向上と交通事故防止に役立っています。



ドライブレコーダー

ガス供給システムにおける取り組み

巴商会では、お客様へ納めた高圧ガスが使用目的に合わせて安心して使えるよう、ガス供給設備、移送するための配管、消費後に排出される未反応毒性ガスを処理する除害処理装置など、ガス供給制御システム全般の設計や製作、現地配管の施工管理を行っています。技術部門では、これらシステムの品質向上に向けて2002年7月に品質マネジメントシステム「ISO 9001」の認証を取得しました。また、マネジメントシステムの基本となるPDCAサイクルを回していくことで安全管理にも役立っています。

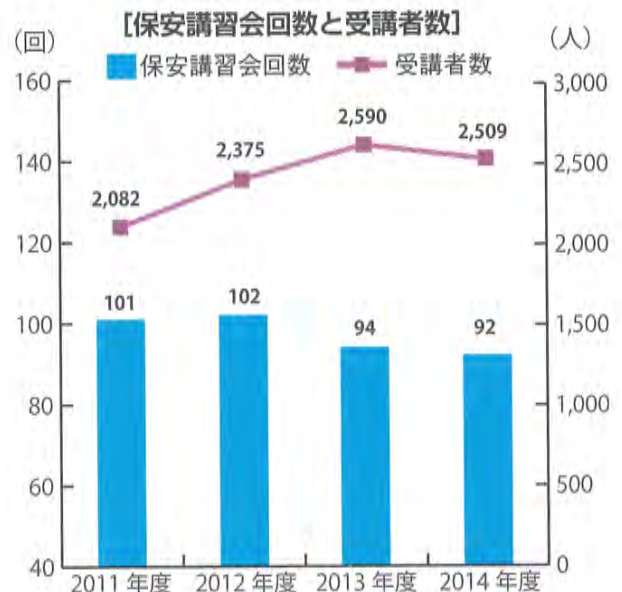
お客様と取り組む安全

保安講習会の取り組み

高圧ガスに関する『公共安全』の確保に向けた取り組みは、社内活動だけに限りません。高圧ガスをお客様へ引き渡した後に正しく取り扱われることが『公共安全』確保には欠かせないと考えています。巴商会では、高圧ガスの正しい知識を持って適切に使用して頂くために、お客様の使用状況に合わせた「高圧ガス保安講習会」を行っています。

2014年は延べ92回開催し、2,509名の方に参加頂きました。

こうしたお客様の声を直に聴ける講習会を通して、お客様が抱える問題を一緒に解決していくことが、災害の芽を未然に摘む近道と考え積極的に取り組んでいます。



安全をキープする人材の育成

社内技術教育・社内資格制度の取り組み

現代のように技術が進歩しても、高圧ガス容器や毒性ガスを除害処理する処理筒の交換作業など、まだ人と危険源が近接する作業があります。

このような特にリスクが高いと位置付ける作業は、作業者の技能向上と保持のために実機モデルを用いた実技指導を年1回行っています。

また、工事管理業務を担う者に対しても2006年より社内資格制度を設け、作業の適切性・安全性の確保を目的とした人材育成を行っています。



工事立会い者社内講習



容器交換実技指導

安全の 意識高揚 に向けて

巴商会内で起きたヒヤリハット情報は、社内イントラネット「トムネットTOMNET」を通じて全社へ素早く周知されています。これらの情報は、データベースにより検索可能なシステムとして2005年に構築しました。こうした事故・ヒヤリハットの情報を共有することで、他部署で起こった同類の事象を繰り返さないことはもちろん、事例を通じてリスクに対する感受性を高めることや作業改善など安全意識の高揚を図っています。

緊急時を想定した安全商品開発

安全に関する商品開発について

万一の液化毒性ガス容器から漏洩が起こった際に、容器を立てた状態で容易に素早く被せることで被害を最小限に抑える『漏洩措置カバー』を2013年6月に開発しました（2015年3月現在、特許出願中）。

『漏洩措置カバー』は、巴商会で所有する全貯蔵庫、全運送車両に配備しています。

自社で保管する容器はもとより、お客様へ納品するまでの移動時における漏洩事故に備えることによって『公共の安全』の確保に役立てることができればと考えています。



漏洩措置カバー



『環境』活動の取り組み

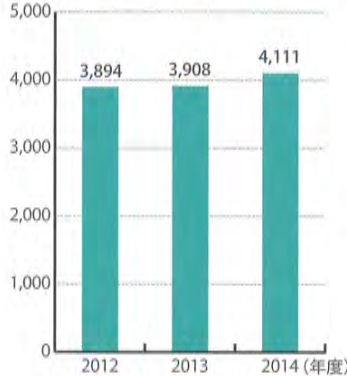
2014年度迄の主な活動結果をご紹介します。

環境商材の拡販

高圧ガスの専門商社として、今年度も環境に有益な環境配慮型商品の販売促進に努めました。

【環境配慮型商品の販売額】

(百万円)



拡販を目指す環境配慮型商品

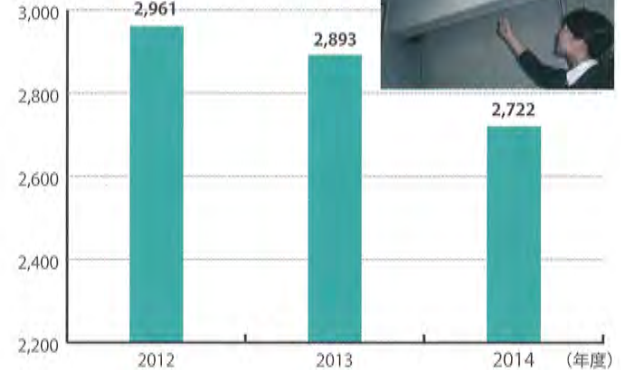
- 除害関連商品
毒性ガスを無害にしてから放出する商品
- ガス検知器関連商品
毒性・可燃性ガスの漏れを検知する商品
- 防災関連商品
高圧ガスなどの災害に備えた商品
- エコ商材関連商品
製造・使用・廃棄が地球環境に優しい商品

電力使用量の削減

節電や太陽光発電・デマンドコントロール等により、使用する電力の削減に取り組みました。

【電力使用量】

(MWh)



車両の燃費向上

車両の入替やエコ運転・アイドリングストップ等により、今年度も使用する運送車両燃料の削減に取り組みました。



【車両平均燃費量】

(km/ℓ)



太陽光発電の運用

保有する4箇所の太陽光発電により、使用する電力の一部を自給しました。

■当社の太陽光発電保有事業所

- ・ガスターミナル
- ・高崎営業所
- ・伊勢原営業所
- ・千葉営業所



【太陽光発電量】

(MWh)



ハイブリッドカーの導入

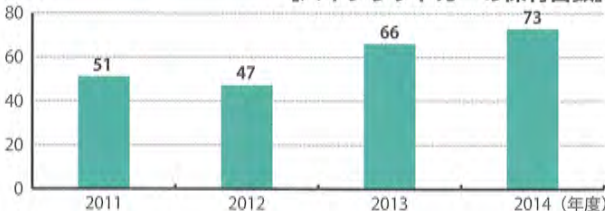
今年度も使用する社有車にハイブリッドカーを導入し、保有数が増加しました。



- 当社の主なハイブリッドカー
- トヨタプリウス
 - ホンダインサイト
 - ホンダフィット
 - ホンダシビック 他

(台数)

【ハイブリッドカーの保有台数】



環境教育の実施

環境教育を全社員に実施し、環境配慮の必要性や重要性を認識させました。



■2014年度の環境教育

1. 巴グループの日常業務
2. 環境リスクの事例
3. 環境方針について





annual report 2015

企業市民 としての活動

私達のできる「身の丈に合った活動とは何か」を常に考えながら、年間計画を作成し、継続した社会貢献活動を行っています。

1. 社内的な取り組み

社会貢献ワーキンググループの組織化

巴商会では、地域社会やその他のコミュニティへどのように貢献すればよいのかということを検討した結果、ボランティア活動などに代表される体験型の社会貢献を進めていこうという意識が醸成されてきました。

そういった中で、2012年1月、志のある社員を中心に「社会貢献

ワーキンググループ」が組織されました。

これは、気軽にそしてより多くの社員が社会貢献活動に参加でき、継続的・計画的に活動の輪を広げて行くことを目的としています。

現在では、ワーキンググループによる年間の企画が、社内のネットワークを通して社員へ案内され

ており、社会貢献活動に参加する社員が少しずつ増えてきたところです。

社員の自主的な参加を基本として、将来にわたって継続していくことが大切であり、この活動の輪を着実に広げることで、社会貢献の接点をより多様にしていければ、と考えています。

2. 私たちのボランティア活動

ボランティア活動への参加状況

(2014年9月～2015年8月)

書き損じはがきの寄付活動

15部署 / 233枚

エコキャップの寄付活動

47部署 / 20,619個

使用済み切手の寄付活動

24部署

カレンダーチャリティ市へのカレンダー寄付活動

23部署 / 1,205本

東京港野鳥公園での竹の伐採活動

20部署 / 47名参加

ベルマークの寄付活動

741枚 / 1526.2点



本冊子に関し、ご意見・ご質問等ございましたら、下記宛先までお願いいたします。

株式会社 巴商会 (監修: 総務部 法務課)

〒144-8505 東京都大田区蒲田本町1丁目2番5号 ネクストサイト蒲田ビル
TEL 03-3734-1111 / FAX 03-3734-1144

